

第4回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 16日			時	分	~	時	分
市町村名	堀金村	グループ名	1					
メンバー	(: 司会、 : 記録者)							

1) 本日の意見交換会の趣旨について

第1グループの意見交換会において、同じメンバーでこれ以上やっても同じ意見しか出ないということで行き詰まった。その中で、一度各グループの合同で行うことで視点の違った意見が加わり、新たな発展ができるのではとの意見が出た。第1グループとして次回開催も決まらなかったため、他のグループに提案、県にも事前に相談して自主運営に任せるとのことであったので、今までと形態を変えた意見交換会として開催をお願いした。その際、今までの各グループの議事録を申込者全員へ郵送することと、最初に申し込んでこれまで参加できない方にも声をかけてほしいことを了承していただいた。その後になって、不参加者には連絡できないことと、県側で11月27日に合同報告会が決まったため、今回の会合の趣旨が不明確になり県の解釈も私的な会合というようになったと思う。第1グループとしては本日出席者は少ないが、事前に連絡も取って、欠席者から連絡もいただいているのであくまで正式な意見交換会と考えている。

第2グループは、県の説明で私的な会合と解釈。そのためオブザーバーとして1名参加。

第3グループは、賛成の意見がないため意見が行き詰まっていた。3グループがまとまって話し合うと言うことで参加。やり方は県の主催と考えていた。

2) 合同報告会(11月27日)について説明

各グループで出た意見の趣旨を公表してもらいたい。その内容を県でまとめて知事にあげる。

合同報告会の内容は広報誌に発表して、全住民に公開する。

合同発表会で終了しなくても良い。その中で、今後どのような形でやりたいという意見があった場合は取り入れたい。

書記は各グループから1名出してもらおう。グループの代表1名が発表する。他の参加者の必要があれば補足を行う。

参加者としては他のグループの意見を聞きたい。

合同報告会の内容の討論は今回の討論にふさわしくないとの意見がありこれにてとりやめ。

3) 今回配布資料について補足説明

平成11年の基本ルートが最終案となる。

堀金村付近の松系連絡道路以外の事業としては、3路線、6箇所が現在ある。豊科 堀金線堀(万水川河川改修工事とタイアップ)、山麓線岩原塚原、山麓線三田クランプ箇所、豊科 大天井線ホリデーYOU下 神社上間、豊科 大天井線須佐渡ウェストン記念館付近、国営公園アクセス道路豊科 穂高柏原である。

第4回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 16日 時 分 ~ 時 分		
市町村名	掘金村	グループ名	1
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

掘金村付近の松系連絡道路以外の事業としては、3路線、6箇所が現在ある。豊科 掘金線堀（万水川河川改修工事とタイアップ）、山麓線岩原塚原、山麓線三田クランプ箇所、豊科 大天井線ホリデーYOU下 神社上間、豊科 大天井線須佐渡ウェストン記念館付近、国営公園アクセス道路豊科 穂高柏原である。

4) 自由意見交換

第2グループでは、賛成の意見を言う人がいないので、高規格道路に賛成する理由がない。

道路自体は反対ではないが、ルート設定を考慮してほしい。ただ反対しているのでなく、堤防道路から梓川沿いに波田につなげるなどの代替案も持っている。

騒音、景観を考慮しても反対である。

第2グループでは、賛成の意見があればその人にレポートを出すなど、工夫して行っている。意見交換会は盛り上がっている。

合同報告会は、圧倒的に反対する意見が多くなると考えられるが、それでは不公平だとの推進派からのクレームはないのか。

今意見を言わなくても27日にだいたいできる。

議論をしようとしても価値観の違いとして片づけられてしまう。

プロセスを大切にという意見もでてきているが、いままでの公共工事の進め方は、議会や商工会などの組織からの働きかけで、住民全体の要望として進められてきた。しかし、実際には住民は何も知らないままであった。そのプロセス自体に問題がある。ただし、それを許してきた住民の側にも責任があるわけで、今後の公共工事に対して住民の要望をどのように反映するかについても考えて、提案していく必要があるのではないかと。

今回の意見交換会は、「松本系魚川道路について」が県から与えられたテーマであり、それ以上のことについて話し合う必要はない。高規格道路に絞って、他のテーマに持って行ってほしくない。

掘金村自由意見交換会は、27日で終わってほしい。

賛成の人は、「お上が作ってくれるというのに何で断るんだい。」という考え方である。今回の自由意見交換会に参加して、いろいろ学ぶことができた。ただ、国や県が道路を作ってくれると思っていたが、自分たちが借金をしているんだということがわかったという意見もある。

両方の意見を聞いて解決していったということは意義深いことである。

今まで無関心であったことを反省している。

各グループ毎に27日はできるだけ参加するように呼びかけましょう。

第4回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 16日 時 分 ~ 時 分		
市町村名	堀金村	グループ名	1
メンバー	(: 司会、 : 記録者)		

配布資料

- ・費用効果の検討
- ・基本ルートと比較検討

次回予定

- ・11月27日合同報告会